

国際ロータリーテーマ

2020～2021 年度 東京小金井さくらロータリークラブのテーマ



国際ロータリー 会長
ホルガー クナーク

侠 Weekly Report

黒田百樹会長

第 2750 地区多摩中グループ、東京小金井さくらロータリークラブ
2020/ 7/ 29 発行

第 1275 回 例会報告

2020 年 7 月 15 日〔水〕12:30～13:30

本日のプログラム: 卓話講師 是枝嗣人会員

■ 点鐘開会 黒田百樹会長

■ ロータリーソング 「友は我が影」
音声のみ・斉唱無し

■ お客様紹介 黒田百樹会長
ゲスト: 東京小金井 RC、会長 斎藤 浩様
" 幹事 本間 紀行様
米山奨学生 ト令馨さん

* 斎藤会長と私は同じネクタイをしています。これはガバナーからのプレゼントです!



■ 会長の時間 黒田百樹会長

私たちの 7/1、小金井 RC 7/2 が初例会でした。
7/1 の夜にドカーンと火球が落ちてきました。私は音だけ聞きましたが、隕石でした。このことは吉兆の年になると思いました。10センチくらい大きさであんなに大きな音がするのかとびっくりしました。隕石にはアルミニウム・リチウム・マンガンが多く含まれていたそうです。地球上のごたごたを忘れて、宇宙のことを考えるチャンスでした。両クラブ共も良いスタートの兆しとなりました。また、米山奨学生のトさん久しぶりにお会いできてよかったです。残り僅かではありますが、帰国まで気をつけて過ごして下さい。今年のテーマの侠はトさんにイメージを尋ねたところ、中国ではヒーロー【強気を

挫き、弱気を助ける】でした。良いイメージでした。中国では何千年と侠の国でした。



■ 東京小金井ロータリークラブより

斎藤会長、本間幹事の年度初めの訪問

斎藤浩会長：皆様こんにちは！会長の斎藤です。今年年度のクラブテーマは“襷をつなごう 想いを込めて” 2年後は創立 60 周年に向けてこのテーマとしました。地元では小金井さくら RC の皆様のほとんどおつきあいをさせていただいています。東京小金井ロータリークラブ 共にお世話になります。クラブとしては東小金井北口周辺の整備を重点的に活動していきます。どうぞ宜しくお願い致します。

本間紀行幹事：本日は限られた席の中を出席させていただきました。両クラブの交流が深まるように活動していきたいと思っております。宜しくお願い致します。

■ 会務報告 清水陽子幹事

* 先週に引き続き、九州南部豪雨災害義援金のお願いです。いまだ復興には相当な時間と費用が掛かりますので、こちらに募金のボックスをお返ししますので、ご協力ください。

* 本日例会終了後に理事会を開催いたします。理事の皆様宜しくお願い致します。

*米山記念奨学会より功
労者への感謝状が届いて
います。会長より贈呈して
いただきます。



■ 委員会報告

社会奉仕委員会・宮崎委員長より

- ① 7月14日に小金井市役所へ“非接触型体温計45
個を西岡市長に贈呈してきました。参加者は会長、
幹事、波多野広報委員長、鴨下財団委員長宮崎で
す。送り先はしない小学校・中学校・学童クラブ・
私立の保育園などです。
- ②第18回クラシックカーフェスティバルの中止のお
知らせの作業・はがき500枚の発送の作業を本日
しました。

■ 出席委員会

佐藤委員

会員数25名・欠席者4名

本日の出席率 84.00%

■ ニコニコボックス

波多野委員

先に東京小金井RC様より、お祝いをいただきましたので、
ご報告いたします。

斎藤、本間様(東京小金井RC)：本年度会長、幹事を務める
事になりました。一年間宜しく願い致します。また、小
金井さくらRCの皆様のご活躍と会員皆様のご健康を心よ
りご祈念致します。【大ニコ】

黒田、清水会員：東京小金井RCの斎藤会長、本間幹事よ
うこそお越し下さいました。一年間、体調に気を付けなが
ら、お互いに頑張りましょう。【大ニコ】

信山勝由会員：先日は妻の誕生日にお花をいただきまして、
ありがとうございました。ニコニコします。【ニコニコ】

松本清司会員：今年も妻の誕生日に花が届きました。ニコ
ニコさせてもらいました。皆さんに感謝！【ニコニコ】

波多野典子会員：斎藤会長、本間幹事新年度スタートおめ
でとうございます。日頃よりお二人のご活躍とリーダーシ
ップは私の目標です。一年間お身体を大切に！楽しいロー
タリーライフを！【ニコニコ】

是枝嗣人会員：黒田会長、清水幹事一年間宜しく願い致

し。齋藤会長、本間幹事親クラブの皆様今年度宜しくお
願い致します。本日は卓話の機会を授かり幸せです。ニコニ
コします。【ニコニコ】

本日の合計：28,000円 累計：103,000円

■ 本日の卓話

講師：是枝嗣人会員

テーマ：コロナの時の葬儀について



最近、コロナ渦での葬儀の対応について、
どのように行うのがいいかと言う話を聞
かれます。本日はそのあたりのお話をしま
す。私がお受けしたコロナの死亡者の葬儀

では、火葬炉が一般の方と時間が異なります。
家族は濃厚接触者の可能性があるために建物はいること
が出来ずに駐車場にて待つこととなります。近隣の日華斎場
では世田谷・杉並・多摩地域でのコロナ死亡者の受け入れが
認められています。火葬炉にコロナのご遺体を入れたりしな
くてはいけない葬儀屋さんもいて、とてもリスクがあって大
変な役割をしています。私もコロナの死亡者の葬儀を受けた
場合には、鳥インフルエンザ用防護服とゴーグルをして、3
ご遺体の葬儀をしました。その際には我が家の隣の空き家に
寝泊まりをして、二週間は家族と離れて生活をしていました。
4月の半ばから最近ではコロナの葬儀はなく、一般の葬儀です。
ご家族が最後のお別れが出来ないことがとても辛い事でした。
コロナではないご葬儀もこの時期では周りの状況で、今まで
のような葬儀が出来なくなっているのも現状で、これからの
葬祭業も厳しい状況です

また、もう一つにエーバミング：遺体を消毒や保存処理、ま
た必要に応じて修復することで長期保存を可能にする技法。日本
語では遺体衛生保全という。土葬が基本の北米等では、遺体から
感染症が蔓延することを防止する目的もあります。コロナの死亡
者も最後は家族が送ることが出来ます。コロナに限らず小さ
いお子様など新しいご遺体とのお別れの仕方もあります。

“大切な人を亡くした時に”の冊子は各自で是非ご覧頂きた
いと思います。ご清聴ありがとうございます

■ 点鐘閉会

黒田百樹会長

事務所：東京都小金井市本町5-11-6 伊藤ビル3F

TEL 042-387-6688 FAX 042-387-8008

例会場：東京都小金井市本町2-5-4 多摩信用金庫・小金井支店4F

会長：黒田百樹 幹事：清水陽子 会報・プログラム委員長：佐藤 剛

e-mail：sakura-rc@jcom.home.ne.jp 委員：松本・遠藤・福平・吉越



